

2013-2017年の元奨学生のソーンサワン・カンサムリット

「もし恩人の支援者の方が、あの時奨学金を援助してくださらなかったら、私は、今こんなところまで来ることはできなかったでしょう。」



ソーンサワンさん(大学の制服で)

今回、中学校から高校まで奨学金支援を受けていた元奨学生のSornsawanさんをご紹介します。中高学校の時に教育のチャンスを提供してくれた支援者の方への感謝の気持ちを伝えたいことと共に、他の現在の奨学生たちにも勉強を頑張るって良い社会人になってほしいというメッセージです。

子供の頃の家族の状況について

私の名前は、ソーンサワン・カンサムリットです。現在18歳です。私の父は、55歳で農業を営んでいます。母は、私がまだ子供の頃に亡くなりました。奨学金をいただく前の私の生活ですが、学校へ持って行けるお金は、一日に10バーツでした。父は、時々学校へ持たせてくれるお金さえもない時がありました。持っている勉強道具は、政府の15年間無償教育プロジェクトで支給されるノートや鉛筆などだけで、新しいものを買ったことがありませんでした。支給されたものをそれは大事に使っていました。友人達が持

っている何色も入った大きな色鉛筆の箱を見ると、自分も欲しくなったりして、貧乏なことを恨んでいじけたりもしました。友達がみんな持っているようなものが私にはなくて、いつも友達が貸してくれるのを待っているしかありませんでした。

家庭が直面していた問題とは

私の家庭にとって大きな問題というのは、父がただ一人で、子供を学校へ行かせる費用を捻出しなければならないということでした。というのも、母は私が子供の頃に亡くなっていました。父は、日雇いの仕事もしていましたが、その仕事は毎日あるという訳ではありません。時には、3日も4日も雇ってくれる人が現れない日が続くこともありました。その上、父自身の仕事である農作業もしなければなりませんでしたが、農産物は、年に一度しか収穫できないのです。

勉強以外に家族を手伝うためにしていたことについて

中学から高校までの生活では、学校から帰ると家の仕事をしていました。父の負担を減らすためです。そして、土曜日の朝は、近所の村の家に雇ってもらい、家事の手伝いをして、1日に200バーツをもらいました。このお金は、父に渡して、家計費に充てました。

EDFから奨学金をもらってからの生活

奨学金をもらえたことは、私自身にも家族にとっても、とても幸運なことでした。学業に使う費用、例えば、勉強道具や制服などの費用に充てることができたからです。そしてお金を学校へ持って行き、学校生活でも使うことができました。

現在の生活について

現在、私はウボンラチャターニー大学経営学部金融及び銀行業科で勉強しています。私は、奨学金をもらっていますが、この奨学金は、その学期毎に科目の平均評価が3.00を下回らなければ、次の学期の奨学金が支給され、そのように最後まで頑張ることができれば卒業できるというものです。

もし卒業できたら、就きたい職業について

私の将来の目標は、実業家になりたいということです。事業を自分で進め、経営したいと思っています。或いは、銀行で働きたいとも考えています。

奨学金を支援してくださった方に伝えたいこと

奨学金を支援してくださった方に申し上げたいことは、私がこの度の奨学金をいただいたことについて、とても光栄に思いましたと共に、支援者様の思いやり溢れたご厚意に、心の底から感激したということです。支援者様が、一人の不幸な子供に目を止められたのは、私の人生にとってこの上もない幸運でした。自分の将来はどうなるのか、まだわかりません。でも、もし恩人の支援者様が、あの時奨学金を援助してくださらなかったら、私は、今こんなところまで来ることはできなかったでしょう。心から感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

EDFの奨学金をもらっている生徒の皆さんに伝えたいこと

この奨学金をもらっている生徒の皆さんに伝えたいことは、奨学金をもらうという、支援者の方からいただいた貴重なこのチャンスを逃さないように、一生懸命、全力で勉強してほしいということです。そして、両親や家族にとって良い子供であってほしい、社会やタイという国にとって良い人間になってほしいということです。私がいつも思うのは、私達はお金持ちの家を選んで生まれることはできませんが、勤勉に一生懸命勉強して、自分自身の将来を自分の手で良いものにすることはできます。

2020年度進学の子どもたちへの募金は、2020年5月31日まで行っています。恵まれない子どもたちに、教育を通して、夢を待つことの出来る素晴らしい機会を与え、将来、この子供達が、タイの社会を支える良い大人になっていくために、皆様には、これからも引き続きご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年-2020年の現在実施中の教育開発プロジェクトのご紹介

EDFは恵まれない子供たちのために中学校・高校への就学支援事業と並行して、多くの企業・団体のCSR(企業の社会的責任)活動に就いて企画から実行まで一貫した共同推進も行っています。学校や生徒達への直接支援活動はもちろん、学校周辺のコミュニティの人々にも貢献するプロジェクトも実施してきました。下記のリストは2019-2020年における実施中の主なプロジェクトのご紹介です。

| 支援企業 | プロジェクト名 | 活動地域・実施場所 | 支援内容 |
|--|--|--|---|
| MP G1 (Thailand) Co., Ltd. (石油関連企業) | Mubadala Petroleum Integrated Development (MPID) | タイ南部のプラチュアブ県とソクラー県 計12校 | 漁師の子どもたちに奨学金提供。校内で課題解決に基づく学習を促進。またプロジェクト対象となるコミュニティでは生活に必要なキャリア開発プログラムも実施され、リーダーシップ、伝統文化保護促進活動、海を守る会、英語スキルアップという様々な村人に役立つセミナーも行われました。 |
| IKEA (スウェーデン発祥で世界最大の家具量販店) | IKEA Self-Reliance School Project | ノンタブリー県計5校 | 学校とコミュニティとの開発プロジェクトの推進能力強化のために、学生が農業、キャリア開発、収入創出、環境保全プロジェクトに関する知識、技術的スキルと経験を得て、自分自身とコミュニティを改善することを奨励しています。 |
| CHEVRON (石油とエネルギー関連製品企業) | Caltex Fuel Your School: Smart Life for All project | 全国大学生対象に募集(コンテスト形式) | 全国の大学生に地域を「スマートコミュニティ」への革新を図るために、創造的なプロジェクト案を提出するというコンテスト。最終的に選ばれる3チームには、プロジェクト実行資金として、各チームに120,000バーツ贈呈されます。 |
| Harmless Harvest (有機栽培のココナツジュースや乳成分不使用のヨーグルトを製造する企業) | Fair for Life Premium Fund | 3県(ラーチャブリー、サムットソクラーム、サムットサーコン)計9校 | 健康診断の徹底普及による地域全体の医療費削減を目指して、対象となる地域の学生たちと彼らの両親、村人たちに巡回検診を実施。また、清潔な飲料水のために浄水器と貯水タンクを必要とする学校に提供している。 |
| HSBC 銀行 | Bank on a Bright Future with HSBC | 5県(チェンライ、サコンナコーン、ナコンパノム、ノンタブリー、パトゥムターニー)計30校 | 対象となる5県の30校から合計3,000人の恵まれない生徒たちに対し、将来実際に生活に役立つ専門的なスキルとそれに関する知識と練習の機会を提供します。実施した例として、農業を使わない野菜栽培技術、ハーブドリンクを作る方法、革製品の作製技術、ヤギのミルクからの食品、タイのお菓子とフェイシャルマッサージなど。 |
| TCP (レッドブルやスポンサーなどのエネルギー飲料を製造するタイ企業) | ปลูกผักอินทรีย์ สู้ภัยพิบัติอาหาร (訳:有機農業で新たな市民の生活へ) | 3県(パトゥムターニー、ナコンパトム、チョンブリー)計6校 | 対象学校で有機農業を促進するために農業使用のリスクと有機農業の重要性について生徒と保護者への知識と意識向上を図る。また、このプロジェクトにより収穫されたものを学校のランチプログラムに適用することにより学校の経費削減を目指します。 |

活動報告・お知らせ

イサーン奨学生生活状況見学旅行のお知らせ

EDFでは、東北地方(イサーン)に住む子どもたちの生活を実際に見ていただき、その恵まれない子どもたちの問題・困難へのご理解を深めていただければと思います。2020年6月下旬か7月上旬に「イサーン奨学生生活状況見学旅行」(日帰り)を計画しております。この見学旅行は、バンコクから出発してナコンラーチャシマー(コラート)県の小中学校を訪問し、学生たちと交流活動も行いながら、奨学生の村の生活や学校生活の実態をご覧いただく予定です。参加ご希望、又は、ご興味のおありの方は、前もって、お名前と連絡先をEDF日本担当宛にご連絡いただきますようお願いいたします。2020年5月中旬に日程決定次第、詳細を含めてEメールにてお知らせします。

2020年「クリスマス・お正月」のプレゼントキャンペーンのご報告

2019年11月から2020年1月10日まで「クリスマス・お正月」のプレゼントキャンペーンを実施しました。たくさんの皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。今回のご協力で302人の生徒たちに下記のプレゼントをお届けすることができましたのでご報告致します。

- ・ 文房具セット 77セット (38,500バーツ)
- ・ 日用品バック 67セット (67,000バーツ)
- ・ 自転車 44台 (101,200バーツ)
- ・ 学校用の靴 54足 (21,600バーツ)
- ・ 特別な奨学金 79,740バーツ
- 合計 308,040バーツ**

彼らに素晴らしい・嬉しいクリスマスやお正月を贈って戴いた支援者の皆様に農村部の子どもたちに代わり、改めて感謝申し上げます。有難うございました。

